

高齢者肺炎球菌ワクチン 予防接種事業について

八王子市

八王子市の概要



○位置 東京都心から西に
40キロメートル

○面積 186.31平方キロメートル

○人口 (平成25年12月31日現在)

住民基本台帳人口	563,482人
65歳以上人口	130,715人
75歳以上人口	57,633人

高齢者肺炎球菌ワクチン 予防接種実施状況

- 事業開始 平成24年度
- 対象者 75歳以上で
初めて接種する方
- 接種場所 市内192医療機関
(八王子市医師会へ接種業務委託)

- 自己負担額 4,000円

※接種時に医療機関へ支払う。

(接種費用8,000円のうち半額費用助成)

- 申込方法

書面(ハガキ等)による事前申込制

申込者に「予防接種助成券」を発行(郵送)

- 実施期間(平成25年度)

申込受付 平成25年6月3日～10月21日

接種期間 平成25年7月1日～10月31日

予防接種実績

【平成24年度】

申込者数 4,329件

{ 接種助成券発行 4,272件
対象外 57件

(対象年齢外55件 接種歴あり2件)

接種者数

接種3,645件 (75歳以上人口に対する接種率6.3%)

予診のみ 16件

※医療機関で接種歴が判明した者 19件

【平成25年度】

申込者数 2,917件

接種助成券発行 2,805件

対象外 112件

(年齢外53件 接種歴あり38件 その他21件)

※その他は、重複申請や申請後辞退など

接種者数

接種2,388件(75歳以上人口に対する接種率4.1%)

予診のみ 24件

※接種歴が判明した者 36件

(医療機関記録で判明18件 接種後予診票の質問項目から判明18件)

予防接種事業の流れ

①市民周知 広報(全戸配布)、ホームページ
↓ ポスター(医療機関、市施設)

②申込受付 ハガキ、窓口受付

↓

③接種対象者の確認(予防接種システムを活用)

↓

- ・住民登録
- ・年齢
- ・接種歴(平成24年度助成接種の有無)

④接種助成券発行(郵送)(予防接種システム)

- ・予約登録

↓

- ・予防接種助成券に該当者の住所氏名等を印刷
- ・送付履歴登録(通知日)

⑤接種(市内192医療機関)

- ・予防接種助成券の提出

- ・予診票の記入(ワクチンメーカー製を使用)

↓

- ・接種歴の再確認 ⇒ 履歴ありは助成対象外
予診票の質問項目による確認
医療機関のカルテの記録確認
- ・接種済証を交付

⑥実施報告

- ↓
 - ・予防接種助成券及び予診票を市へ提出（接種期間終了後）
 - ・予防接種委託料請求
 - ・予診票の控えは医療機関保管

⑦予防接種記録の入力（予防接種システム）

- ↓
 - ・予防接種助成券の個人バーコードを読み取り対象者を特定しデータを入力
ワクチン名、接種日、医療機関等

⑧接種委託料支払

- ↓
 - ・実施医療機関ごとに口座振込

⑨完了

予防接種記録の管理状況

- 予防接種システムにより予防接種台帳として接種記録を管理。
- 高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種記録は、種別、接種年月日、実施医療機関等を入力。
- 予防接種システムは、住民基本台帳システムと連動しているため、自動的に住民データが更新。

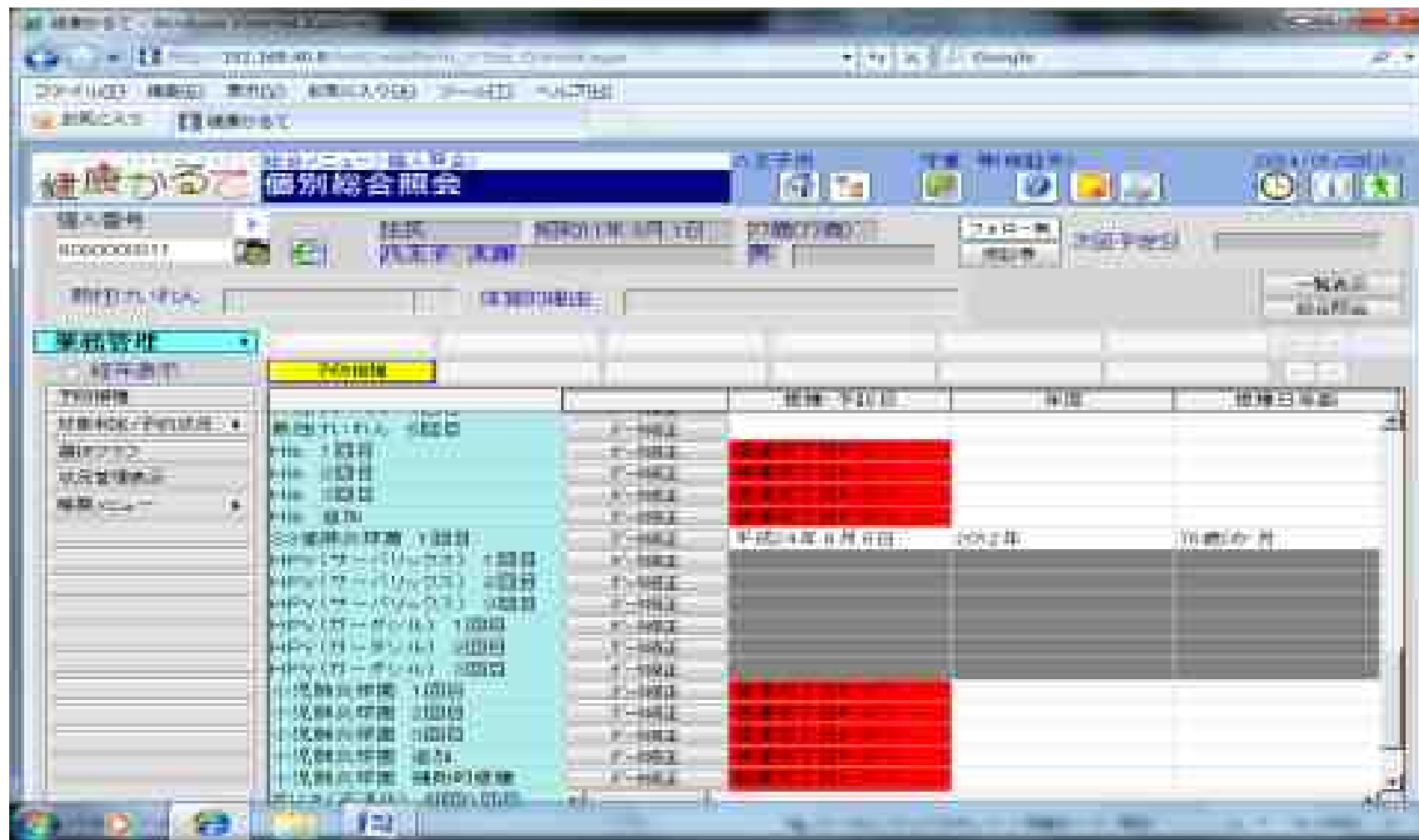
予防接種システム(画面サンプル)

【個人総合照会】住民情報と予防接種記録



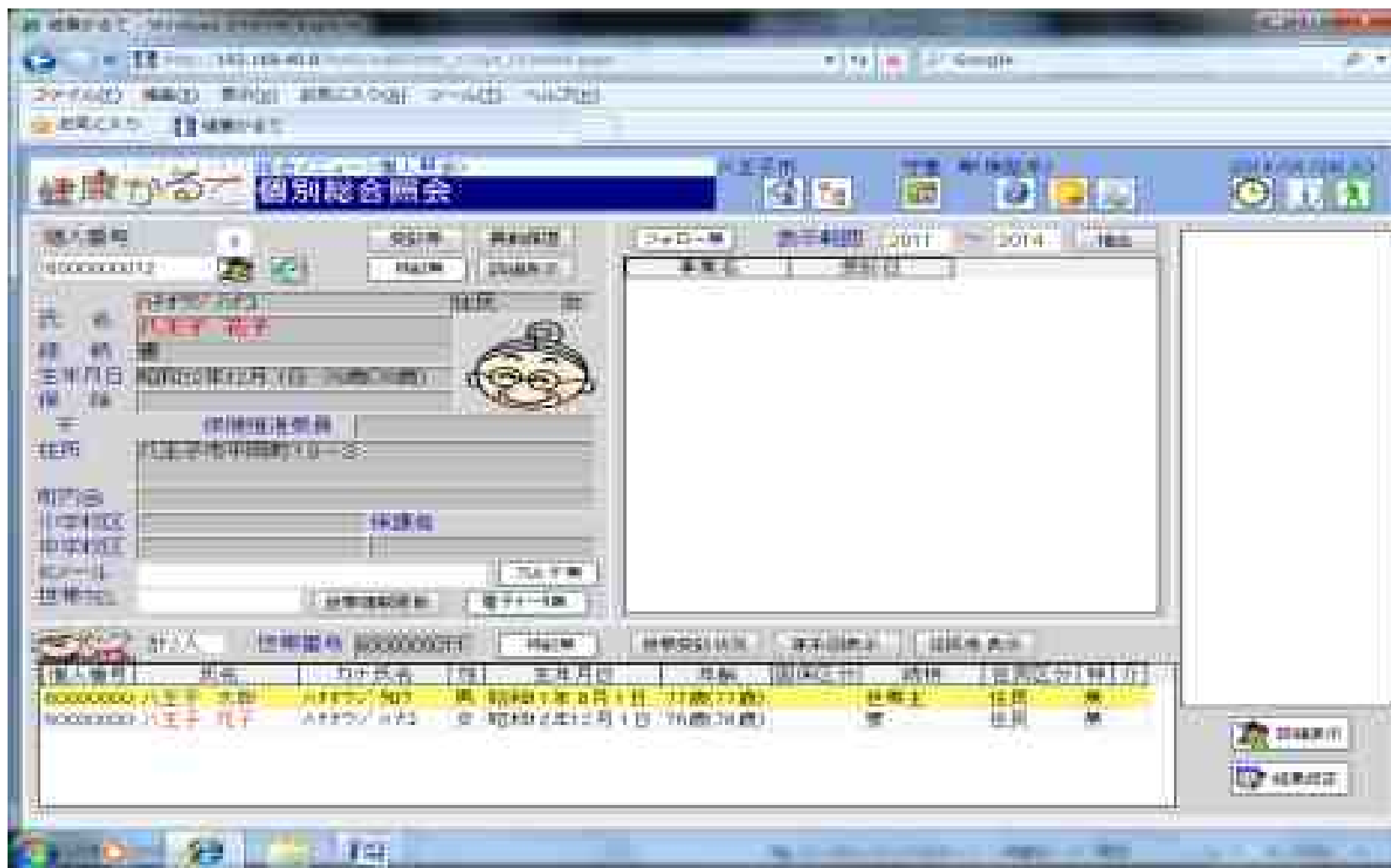
【予防接種台帳】

種別毎に接種日、接種年度、接種日年齢、実施医療機関、ロット番号、請求日、特記事項などの項目を管理



高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種のシステム活用法

【対象者の確認】住民登録、年齢、接種歴



【予約登録】高齢者肺炎球菌ワクチンの申込者の登録、予約番号(連番)を自動付番



【予防接種助成券の出力】送付先の住所、対象者の氏名、生年月日、個人バーコードを用紙に印刷

<出カイメージ>



<予防接種助成券>



【送付履歴の管理】

帳票出力時に事業名、送付日を登録。照会画面で確認。



【予防接種記録の入力】

種別、接種日、実施医療機関等を入力(入力候補から選択)。

乳幼児接種個別入力

接種種別	接種日時	接種回数	接種予定日	接種状況	実施医療機関
2歳接種前検査	1回目		平成24年11月1日	接種済	八王子市保健所

【個人総合照会】登録された予防接種記録を確認。



今後の課題

- 対象者への周知
 - 〈現状での対応〉
 - 広報、ホームページ、ポスター
 - 医療機関でのチラシ配布
 - 〈今後の課題〉
 - テレビコマーシャルなど(国から)
- 接種歴の確認(再接種を行う場合の間隔の確認)
 - 〈問題点〉
 - 市の助成接種以外での接種歴の把握が困難
 - 転入者の他市町村での接種記録が確認できない
 - 〈現状での対応〉
 - 医療機関での確認(カルテや問診による聞き取り)
 - 本人による接種記録の保管(接種済証など)
 - 〈今後の課題〉
 - 社会保障・税番号制度等の活用による全国統一仕様での記録管理

- 定期接種対象年齢外の方への任意接種の助成
〈課題〉
任意接種の助成では対象であったが、定期化で対象外
助成接種を行った場合の定期接種と任意接種の違いの説明
- 予防接種制度改正の早期化(十分な準備期間が必要)
〈現状〉
市財政担当は法令改正や国の通知がないと予算化しない。
年度途中の補正予算は財源確保が厳しい。
〈要望〉
市町村の当初予算編成時期までに法令改正を行い、
十分な準備期間をおいて施行していただきたい。